カナリヤ通信

第26号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもった女性が、社会の中で逞しく、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

ジェンダーギャップを考える

次回は1月17日付です。テーマは「男性の家庭での役割」です。

意識改革徹底でジェンダーフリー社会へ

世界経済フォーラム（WEF）が発表した2017年の男女平等度ランキング（The Global Gender Gap Report 2017）によると、144カ国中、日本は前年から3位も順位を落として114位となりました。この数字は過去最低、また、G7先進7カ国中、ダントツの最下位となっています。女性活躍推進法が施行され、機運が高まる中でのこの数字に驚いた人も多いのではないでしょうか。そこで今回は、ジェンダーギャップ社会からジェンダーフリー社会へ転換するためになにをするべきかを日本女子大学教授の大沢真知子さんに聞きました。

日本女子大学 現代女性キャリア研究所長 人間社会学部教授

大沢 真知子氏

経済・政治参画ともに3桁の順位

世界ジェンダーギャップ指数が発表されました。日本は144カ国中114位、昨年より3位落とすという結果となりました。さらに、この数字は過去最低となっています。女性活躍推進法が施行され、さかのぼれば雇用機会均等法が施行され、国主導で働き方改革が推し進められているにもかかわらず、結果的に順位を下げたのはとても残念だと思います。

内訳としては政治参画については123位（前年103位）、経済参画は114位（同118位）、教育は74位（同76位）となっています。健康寿命については1位（同40位）となっており世界に誇れる数字となっています。しかし、女性活躍について言えば、政治を見ても議員や大臣の数は少ないです。また、産業面について言えば、国の施策もあって女性が少しずつ増えては来ているものの、まだまだといった感じです。しかし、少子高齢化が進み、就労人口が減少する日本において、女性の活躍がないと経済は立ちゆかなくなります。そのためにも、女性の活用を強力に推し進める必要があります。

状況に応じ柔軟な働き方

働きながら子どもを育てる際に、保育園に預けなくてはいけません。ただ、待機児童問題が取り沙汰されているように、保育園に預けられず会社を辞めるという選択肢を選ばなくてはならない場合もあります。これは日本の社会にとって大きな損失といえます。働きたい女性が働けないという事態を解消するためにも、保育園の数を増やす、そのために保育士の数を増やす、保育士が辞めないように給与面などの待遇を厚くするなど、保育に関連するすべてにおいて抜本的な改革を行う必要があります。また、保育園が見つからない場合は、テレワークを導入するなど柔軟な働き方ができるようにする必要があります。テレビ会議などで会議に参加し、就業時間に成果を出せばどこで仕事をしても問題がないでしょう。育児だけではなく介護の際にも有効な手段だと考えられます。

長く働くより効率よい仕事

一方、評価制度についても改革が必要です。評価について、「長く働けば働いただけ評価が高くなる」ではダメです。あくまでも、短時間で求められた仕事をし、成果を出した人の方を評価しなくてはいけません。また、管理職より後に帰る人が頑張っているという考え方はやめるべきです。逆に、管理職も部下が効率よく仕事をするように育成する必要があります。生産性は、時間ではなく集中と効率です。余談ですが、アメリカでも女性が出産し育児をすることによって、評価を下げられる傾向が見られます。政治の場面で女性が活躍しているように見えますが、公正な判断が行われているとはいえません。とはいってもアメリカのランキングは49位と日本よりもはるかに上位ですけれどね。

ジェンダーギャップ指数 日本は過去最低の114位

女性が活躍しにくい風土も

ただ、企業では女性が活躍しにくい風土が少なからずあります。見た目には女性の数が増え、「全面的に女性活躍を推進している」と提唱していても、実態は違うといったことも散見されます。というのも、高度経済成長期には「結婚したら女性は家庭に入り家を守る」といった風潮があり、女性のほとんどが家庭に入り子育てをするのが当たり前でした。確かにその時代は、終身雇用で夫の給料は年々上がり、退職金も支給され、年金も入るといった良い時代でした。しかし、経済が停滞し給与水準が下がり、年金制度が崩れつつある今となっては、女性も働かなくては生活できなくなってきています。現在、20歳代から30歳代の女性は、結婚・出産しても辞めない人が増えてきました。ある意味、女性も頑張っています。

教育し管理職の女性比率増

女性の数を増やすためにはどうするべきかといった問いかけへの答えは、採用した時から男女の差をなくして女性に仕事のやりがいを感じてもらうことです。そして管理職になるための教育をするなどして管理職の女性比率を増やすことも必要でしょう。逆に数あわせだけのために昇進させると、本人だけではなく周囲の人も戸惑うと思います。そういったことをなくすためにも、キャリアアップ研修などの教育が必要になると思います。

男性が家事・育児に参加

今、20歳代から30歳代の男性は以前に比べると家事や育児をしていると感じます。また、少しずつ育児休暇を取得する人が出てきています。街中で赤ちゃんを連れた夫婦を見かけますが、育児慣れしているパパもいます。子どももよくわかっていて、「パパ大好き！」といった感じで接しています。家庭に重きを置いている男性が増えているということは、いずれこの世代が企業の中枢となる時、確実に活躍する女性が増えているということになります。ただ、そうなる20年先まで待っているわけにはいきません。なるべく早い段階で、真の意味で女性が活躍できる社会を実現するよう、男性を含めて意識改革の徹底と政府主導の実を伴った施策の展開が必要であるといえるでしょう。そうすれば、ジェンダーギャップ社会からジェンダーフリー社会へ転換し、日本は誰でも働きやすい社会になると思います。

2017年の男女平等度ランキング

2017年の男女平等度ランキング（抜粋）

順位	国名	スコア	順位	国名	スコア
1位	アイスランド（1）	0.878	：		
2位	ノルウェー（3）	0.830	49位	アメリカ（45）	0.718
3位	フィンランド（2）	0.823	：		
4位	ルワンダ（5）	0.822	100位	中国（99）	0.674
5位	スウェーデン（4）	0.816	：		
6位	ニカラグア（10）	0.814	114位	日本（111）	0.657
7位	スロヴェニア（8）	0.805	：		
8位	アイルランド（6）	0.794	118位	韓国（116）	0.650
9位	ニュージーランド（9）	0.791	：		
10位	フィリピン（7）	0.790	144位	イエメン（144）	0.516

＊スコアは「1」に近づくほど男女平等を表す
（　）内は前年の順位

日本の各分野別ランキング

分野	2017年（総合114位）順位	2017年（総合114位）スコア	2006年（総合80位）順位	2006年（総合80位）スコア
経済参画	114	0.580	83	0.545
教育	74	0.991	60	0.986
健康寿命	1	0.980	1	0.980
政治参画	123	0.078	83	0.067

各分野の項目
経済参画…労働力率、勤労所得、幹部・管理職、専門職・技術職の男女比、同種業務での給与格差
教育……識字率の格差、基礎教育在学率、中等教育在学率、高等教育在学率の格差
健康寿命…出生時の男女比、健康寿命の男女比
政治参画…国会議員、閣僚の男女比、過去50年間の国家代表の在任年数の男女比

世界経済フォーラム（WEF）が発表した2017年の男女平等度ランキング（The Global Gender Gap Report 2017）によると、1位アイスランド（スコア0.878）、2位ノルウェー（同0.830）、3位フィンランド（同0.823）。米国は49位（同0.718）、中国は100位（同0.674）と日本より上位となった半面、韓国は118位（同0.650）となった。上位に北欧諸国が名を連ねる中、アジアや中東、アフリカが下位にランキングされている。最下位の144位はイエメン（同0.516）。

幻想的な風景が浮かぶキャンドルホルダー

カメヤマ

もう12月。だんだん寒くなって、冬も本番です。日暮れが早く夜の時間が長くて、ちょっと寂しい気分になりがちです。でも、ひとたび街に出るとクリスマス一色。街中がイルミネーションで輝き、クリスマスソングが鳴り響いて、ちょっぴりウキウキしますよね。

そこで今回紹介するのが、ロウソクメーカーのカメヤマが販売しているコージーディフューザー（2,200円、税別）とコージーキャンドルホルダー（1,500円、同）。絵本のワンシーンのような、雪の中で遊ぶ動物たちをデザインした「フォレスト」と雪の降る街並みをデザインした「タウン」がホルダーにあしらわれているのです。コージーディフューザーはスティックをセットすることで香りを楽しめるとともに、ボトルを取り除きキャンドルをセットするとキャンドルホルダーとして使用できます。

暗くした部屋でロウソクを灯すと、雪の森、街、真っ白で美しい銀世界など幻想的な風景が浮かび上がり、私たちをおとぎの世界に引き込んでくれます。クリスマスパーティの話題づくりに、また、癒しのひとときにも一役買いそうなアイテムです。

＊　＊

◇『コージーキャンドルホルダー・「フォレスト」「タウン」』を抽選で合計４名にプレゼント！

住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部にファクスかウェブからご応募下さい。締め切りは12月18日（月）です。

スマホ、携帯電話から応募できます！

コージーディフューザーとコージーキャンドルホルダー

左がアロマにも使えるコージーディフューザー、右はコージーキャンドルホルダー。奥が「フォレスト」で手前が「タウン」

どんなときも誠実な医師でありたい

わたしの仕事スタイル

東北大学病院 医師 村上 恵さん

私は消化器外科医として、胃や大腸で手術が必要となる患者さんに携わっています。何らかの原因で食事が摂れなかった患者さんが手術をすることによって食事ができるようになり、徐々に元気になっていく姿を間近で見ていけること、その治療にかかわらせていただけることをやりがいに感じています。

「外科」というだけあって、手術がメインの体力勝負でもある科なので、これまであまり女性は多くなかったのですが、近年の女性医師の増加に伴い消化器外科を選択する女性医師は増えてきています。しかしながら、一番経験を積める時期が女性としての結婚、妊娠出産の適齢期と重なるため、どのようにキャリア形成ができるのか、女性医師が抜けたところをどのようにカバーするのか、女性医師だけでなく男性医師も含めた職場全体で頭を悩ませるトピックとなっています。

私自身、今後どのような道を辿っていくのか、正直具体的なプランはありません。仕事と家庭を器用に両立させられるようなタイプでもありません。ただ、どんなときも患者さんに誠実な医師でありたい、そしてそれを理解し応援してくれる家族に感謝の気持ちを伝えていきたいと思います。

編集部放談

A　もう年の瀬だね。B　あっという間の１年だったよね。C　ことしのカナリヤ通信も内容が盛りだくさんでしたね。A　確かに。ライフサイクルや新入社員を迎える側の心構え、ダイバーシティーなどを採り上げたよね。それに、更年期障害やメンタルヘルスなど、知っているようで意外に知らないテーマにも踏み込んでみた。B　身体的なテーマについては、いずれ自分にもかかわるかもしれない話だから知っておいた方がいいと思う。C　そういえば、内閣府や文部科学省、日本経団連が主導している「夏のリコチャレ」にも参加しましたね。A　女子生徒の理工系進学を後押しするイベントだけれど、企業や団体のブースの作り方は素晴らしかったね。B　日常の生活の中に、建設産業界の技術がかかわっていることに気付いてもらうための工夫がすごかった。C　模型が作り込まれていて、大人でも楽しめましたよ。A　さあ、来年もカナリヤ通信は内容が盛りだくさんだよ。それに、夏のリコチャレも開催するから頑張っていこう！

連絡先はこちら→
■お問い合わせ
株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部
TEL03-3259-8711　FAX03-3259-8730
■ご意見・ご感想、プレゼントの応募は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。

webで公開中

「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。